



調査概要

1. 調査テーマ 夫婦の妊娠期から育児期における家族のQOL*と子育ての環境との関連性、生活の実態など。
2. 調査方法 郵送法（自記式アンケートを郵送により配布・回収）
3. 調査時期 2006年から4年間（年1回調査／11月・6月の2グループ）
4. 調査対象 第1子の妊娠期から子どもが2歳になるまでのフォローアップ調査に同意した夫婦 364組

	11月グループ	6月グループ
妊娠期妻・夫（364人）	2006年	2007年
0歳児期妻・夫（364人）	2007年	2008年

※本報告書では、フォローアップ調査対象者のうち、第1子の子どもについて回答した夫婦のみを対象としているため、速報版（2009年2月刊行）の対象者401組と異なる。

5. 調査地域 日本国内全域
6. 調査項目 妊娠・出産の経緯、親準備性、家庭での養育機能、夫婦の相互サポート、夫婦の愛情関係、親と子のQOL*、子育てのストレス、ワークライフバランス、子どもの行動の特徴、子どもの発達、子どもの生活時間（日誌形式）

※参考

横断調査

調査方法：郵送法（自記式アンケートを郵送により配布・回収）

対象者：妊娠期と0・1・2歳の第1子を持つ妻・夫

調査時期：2006年11月2日～17日

配布数：16,000通／有効回答数：4,479人

調査地域：全国

面接調査

対象者：フォローアップ調査に参加している妻・夫 23名（妻20名、夫3名）

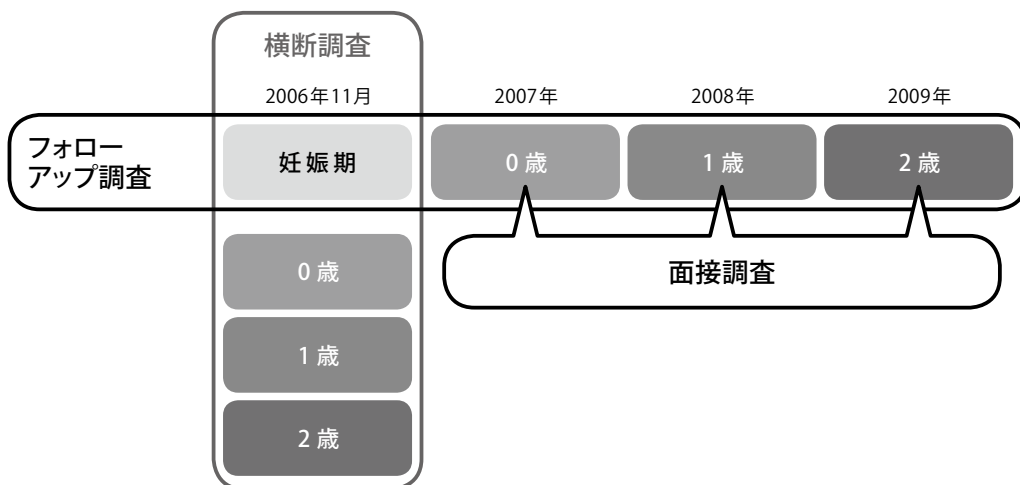
調査時期：2008年8～9月

調査地域：東京・熊本



本調査の枠組み

2006年度に妊娠期と0歳、1歳、2歳までの家族の実態を横断的に調査した。2007年度より2006年度調査で妊娠期だったご家族とその後追加したご家族合わせて364組を、毎年継続して追跡することで、親になるプロセスと子育ての状況を探るフォローアップ調査をしている。本報告書は、フォローアップ調査を分析したものである。



*2006年度の横断調査の詳細な分析は、「第1回妊娠出産子育て基本調査報告書」としてまとめている。(2007年10月刊行)

*面接調査では、アンケート調査の内容について、個別に詳細なヒアリングを行った。

*WHO（国際連合世界保健機関）QOLについて

QOL（クオリティ・オブ・ライフ、生活の質）とは、人々が感じている自分自身の生活の良質さのことです。『WHO QOL26』は、国際連合世界保健機関（WHO）が定義する“健康”（身体的、精神的、社会的に良好な状態にあること）の概念に沿って作成されました。今回の調査で使用したWHO開発の『WHO QOL26』質問項目は、出版元、株式会社金子書房の許可を得て使用しました。